

第66回北海道総合保健医療協議会総会 議事録

と き 令和5年7月25日(火) 16:00～16:40

ところ TKP札幌ビジネスセンター赤れんが前 ホールC

(総務課 松田政策調整担当課長)

それでは、ただいまから、第66回北海道総合保健医療協議会を開催いたします。

協議会会長が選出されるまでの間、進行役を務めさせていただきます道庁保健福祉部総務課の松田でございます。よろしくお願いいたします。

開会に当たりまして、濱坂副知事よりご挨拶を申し上げます。

(濱坂副知事)

皆様お疲れ様です。北海道副知事の濱坂でございます。開催に当たりまして私から一言ご挨拶を申し上げます。

皆様には大変お忙しい中、そしてこの蒸し暑さの中、本協議会にご出席をいただきまして、厚くお礼申し上げますとともに、日頃から本道の保健医療福祉行政の充実、道民生活の向上にご尽力をいただいておりますことに心から感謝を申し上げたいと思います。

本道では、人口減少そして高齢化が急速に進行する中、道民の方々が住み慣れた地域で将来にわたって安心して暮らし続けることができる社会を実現するためには、医療介護の提供基盤づくり、地域包括ケアを一層推進していくこと、医療を支える人材の育成確保、広大な北海道の地域特性を踏まえた周産期・救急医療体制の構築など、地域医療の充実を図っていくことが重要であり、この協議会におきまして、議論を深めていただきますようお願いを申し上げます。

また、今年度でございますけれども、保健医療福祉分野におきましては、令和6年度からの次期計画期間に向けまして、医療計画、がん対策推進計画、歯科保健医療推進計画など、合計16本の計画の策定を予定しておりまして、この協議会をはじめとして、関係する審議会等のご意見を十分に伺いながら、我々作業を進めて参りたいと考えておりますので、皆様のご指導とご協力をよろしくお願い申し上げます。本日は、昨年度の協議状況を報告いただくとともに、本年度における取組等をご議論いただく予定としておりますことから、委員の皆様にはそれぞれご専門のお立場から忌憚のないご意見、ご提言を賜りますようお願いを申し上げます。

また、今後とも本道の保健医療福祉の一層の充実に向け、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。開会に当たってのご挨拶といたします。本日は皆様よろしくお願い申し上げます。

(総務課 松田政策調整担当課長)

それでは、まず、本日の会議の進め方についてご説明いたします。

本日オンラインでご参加いただいている委員の皆様は、ご発言時以外はマイクをミュートにさせていただきますようお願いいたします。また、ご発言の際は、Zoomのサービス内の下段にあります「参加者」ボタンの中にある「手を挙げる」ボタンをクリックいただきまして、こちらから指名を受けた後、ご発言をお願いいたします。その際は、マイクのミュートボタンを解除いただきまし

て、ご発言終了後は再度ミュートに戻していただきますようよろしくお願いいたします。

続きまして、本日の会議資料の確認をさせていただきます。

お配りした資料の中の1枚目「会議次第」がございまして、そのあとに「出席者名簿」委員の皆様と事務局の部分が1枚、オブザーバーの方の部分が1枚ございます。

資料1としまして「北海道総合保健医療協議会委員名簿」1枚物になります。

資料2としまして「令和4年度（2022年度）各専門委員会の協議状況」A4の横で25ページまでございます。

資料3としまして「各専門委員会委員名簿（案）」A4縦1枚でございます。

資料4といたしまして「令和5年度（2023年度）各専門委員会の協議予定（案）」A4横で3ページまでございます。

参考資料といたしまして「北海道総合保健医療協議会設置要綱」を配布しております。

それでは、まず、会議次第の3「会長及び副会長選出」についてございます。参考資料として添付しております「北海道総合保健医療協議会設置要綱」の第5条第2項の規定によりまして、会長及び副会長は委員の互選により充てることとなっておりますので、皆様からご推薦をいただきたいと思っておりますがいかがでしょうか。

（北海道歯科医師会 西委員）

会長には、北海道医師会の松家委員を、副会長には、札幌医科大学の高橋委員を推薦いたします。よろしくお願いいたします。

（総務課 松田政策調整担当課長）

ありがとうございます。ただいま、会長に松家委員を、副会長に高橋委員をとのご推薦がございましたが、いかがでしょうか。

《 異議なし 》

ありがとうございます。それでは、会長を松家委員、副会長を高橋委員にお願いしたいと思います。松家会長は会長の席へ、高橋副会長は副会長の席に、恐縮ですがお移りいただきたいと思えます。

－会長席・副会長席に当該委員移動－

それでは、ここで、会長に選出されました松家会長からご挨拶をお願いいたします。

（松家会長）

ただいま会長に選任されました北海道医師会の松家でございます。第66回北海道総合保健医療協議会総会の開催に当たりまして一言ご挨拶申し上げます。

本協議会は、昭和52年に設置し、これまで、保健医療対策の推進に関する重要な協議の場として、皆様から大変貴重なご意見をいただきながら、本道の保健医療の確保と福祉の向上に大きな役割を果たしてきたところでございます。

濱坂副知事のご挨拶にもありましたように、本道の保健・医療・福祉に関する課題は、少子高齢化をはじめ、医療を支える人材の育成や確保、医療資源の偏在が著しい北海道の地域特性を踏まえた

周産期・救急医療体制の構築などといった地域医療の充実に加え、今般の新型コロナウイルス感染症を始めとした新興感染症への対策など多岐にわたっており、それぞれの課題に応じた効果的な対策を講じるため、本協議会が果たす役割は、ますます重要になってきたと考えております。

また、本年度は令和6年度から始まる次期医療計画の策定を行う年でもあり、本協議会が大変重要な役割を担っていると考えております。

保健・医療・福祉サービスは、道民生活に密着し、欠かすことのできないものであり、どのような社会環境にあってもしっかりと確保しなければならないものであります。

この協議会では、道民の立場に立ってより質の高い保健医療サービスが効果的に提供され、かつ多様化するニーズにも柔軟に対応できるよう、長期的かつ総合的な視点から議論を行っていくことが重要と考えております。

本日の総会以降、各専門委員会等におきまして具体的な協議をお願いすることとなりますが、各委員の皆様には、活発なご発言、ご提言をいただきますようお願い申し上げて開会にあたっての私からの挨拶といたします。今日はよろしく願いいたします。

(総務課 松田政策調整担当課長)

ありがとうございます。それでは、これからの進行は松家会長をお願いいたします。

(松家会長)

では、早速、お手元に配布しております会議次第によりまして、会議を取り進めさせていただきます。5の報告事項に入らせていただきます。

まず、(1)の「北海道総合保健医療協議会委員の委嘱状況について」事務局から報告をお願いいたします。

(総務課 松田政策調整担当課長)

それでは、私の方から資料1に基づきまして、委員の委嘱状況についてご報告いたします。本協議会の委員につきましては、令和5年6月30日で2年間の任期の満了を迎えておりまして、この度一斉改選を行い、新たに令和7年6月30日まで委員をお願いしているところでございます。

お手元に配布されております資料1のとおり、委員構成は、学識経験者10名、医療関係者26名、病院関係団体3名、関係機関・団体関係者5名の計44名でございます。

続きまして、今年度新たに委員とられました6名の方についてご紹介させていただきたいと存じます。

北海道大学医学部 准教授 村上 学 (むらかみ まなぶ) 委員、

北海道医師会 常任理事 白崎 修一 (しらさき しゅういち) 委員、

北海道地方・地域センター病院協議会 会長 眞岸 克明 (まぎし かつあき) 委員、

北海道厚生局長 一瀬 篤 (いちのせ あつし) 委員、

全国消防長会北海道支部 支部長 村井 広樹 (むらい ひろき) 委員、

北海道警察本部 地域部長 高田 重栄 (こうだ しげよし) 委員、

以上の6名の方が、新たに委員とられております。

(松家会長)

ありがとうございます。どうぞよろしく願いいたします。

それでは、次に(2)の「令和4年度(2022年度)各専門委員会協議状況について」各委員会の前年度の委員長又は代表される委員の方から報告をお願いいたします。

また、報告に関してのご質問、ご意見につきましては、全ての専門委員会からの報告が終了しました後にお受けしたいと思いますので、よろしく願いいたします。

それでは、まず「救急医療専門委員会」からご報告をお願いいたします。

(北海道医師会 青木委員)

北海道医師会常任理事の青木でございます。救急医療専門委員会についてご報告させていただきます。また、専門委員会には、救急医療機関の認定に係る審査を行う「救急告示医療機関審査小委員会」と、北海道救急医療・広域災害情報システムの円滑な運用について検討を行う「救急医療情報システム検討ワーキンググループ」を設置しておりますので、これらにつきましてもあわせてご報告させていただきます。

はじめに、お手元の資料2の1ページ目をご覧ください。まず、「救急医療専門委員会の協議状況」について、令和4年度は1回開催しております。

次に、2ページをご覧ください。具体的な協議状況についてご説明させていただきます。議題は4つでございます。

まず1つ目、「北海道医療計画の推進状況及び評価等について」であります。現行の医療計画における、救急医療体制、災害医療体制、小児救急医療体制についてご報告いたしました。

2つ目、「救急医療体制の整備について」であります。平成29年度から実施しております「メディカルウイング」の搬送要請、搬送件数等について、また「ドクターヘリ事業」に係る運航状況について、さらに「北海道大学病院の救命救急センター指定」についてご報告させていただいたほか、「北海道消防防災ヘリコプター」に係る北海道警察との共同運航体制への移行についてご報告いたしました。

3つ目、「小児救急医療体制の整備について」であります。「小児救急医療体制」の整備状況について、また「小児救急電話相談事業」の実績及び実施状況についてご報告いたしました。

4つ目、「災害医療体制の整備について」であります。「北海道DMAT等検討ワーキンググループ」の検討状況について、また「SCU(広域搬送拠点臨時医療施設)」の設置状況について、ご報告いたしました。以上が救急医療専門委員会の昨年度における協議実施状況でございます。

続きまして、3ページをご覧下さい。救急医療専門委員会の小委員会である「救急告示医療機関審査小委員会」についてご説明いたします。

こちらは、昨年度4回、書面にて開催しております。具体的な協議内容は、4ページをご覧ください。救急告示医療機関審査小委員会については、昨年6月、10月、今年1月、2月に救急告示の医療機関について、ご審査いただいております。

最後に、資料はございませんが「救急医療情報システム検討ワーキンググループ」については、システムの運営状況等で特に大きな課題がなかったことから、令和4年度は開催しておりません。

救急告示医療機関審査小委員会などにおける昨年度の協議実施状況についての説明は、以上でござ

ざいます。

(松家会長)

ありがとうございます。次に、「地域医療専門委員会」からご報告お願いいたします。

(北海道医師会 佐古委員)

北海道医師会の佐古でございます。地域医療専門委員会令和4年度の協議状況につきまして、報告させていただきます。地域医療専門委員会には、「看護対策小委員会」、「周産期・小児医療検討委員会」、「医療施設整備等検討委員会」、「在宅医療小委員会」の4つの小委員会を設置しておりますので、併せてご報告させていただきます。

まず、はじめに、資料2の5ページから6ページをご覧ください。地域医療専門委員会は、委員18名と臨時委員6名の計24名で、5回開催いたしました。

次、7ページをご覧ください。「次期医療計画」については、医療法に基づき都道府県が策定する「次期医療計画」における二次医療圏の見直しについて協議を行いました。

次、「地域医療構想」については、各圏域における地域医療構想調整会議の開催状況を共有しながら、構想の推進に向けた協議を行いました。

次に、「北海道地域医療介護総合確保基金」を活用して実施する事業を取りまとめた「北海道計画」については、令和4年度分及び令和5年度分の事業内容の協議を行いました。

次に、小委員会における協議状況について説明いたします。8ページから9ページをご覧ください。

はじめに、「看護対策小委員会」ですが、当委員会では水谷委員を委員長として委員5名と臨時委員6名の計11名で2回開催し、看護職員確保対策や道立江差高等看護学院を巡る諸問題への対応について協議を行いました。

10ページをご覧ください。「周産期・小児医療検討委員会」ですが、当委員会では、齋藤委員を委員長として、委員6名と臨時委員11名の計17名で1回開催し、11ページの記載のとおり道内の周産期医療体制の確保や医師の働き方改革について報告したほか、北海道医療計画の推進状況について協議を行いました。

次、12ページをご覧ください。「医療施設整備等検討委員会」ですが、当委員会では、笹本委員を委員長として、委員4名で3回開催し、13ページに記載のとおり医療提供体制施設等整備事業に関して、令和3年度事業の事後的評価や令和4年度の国の交付金の内示額のほか、令和5年度の事業計画などについて協議を行いました。

最後に、14ページをご覧ください。「在宅医療小委員会」ですが、当委員会では、藤原委員を委員長として、委員4名と臨時委員12名の計16名で2回開催し、15ページの記載のとおり北海道の在宅医療の現状と取組についてのほか、北海道医療計画の在宅医療提供部分の推進状況及び評価や北海道在宅医療推進支援センターの活動について協議を行いました。

以上、簡単ではございますが、「地域医療専門委員会」の令和4年度の報告とさせていただきます。

(松家会長)

ありがとうございます。次に、「地域保健専門委員会」からご報告をお願いいたします。

(北海道医師会 藤原委員)

北海道医師会副会長の藤原でございます。それでは、令和4年度の地域保健専門委員会の協議状況についてご報告いたします。

資料の2、16ページをご覧ください。地域保健専門委員会では、がんや循環器疾患の医療連携体制の構築など地域保健にかかわる事項について協議を行っており、令和4年度の専門委員会は、書面開催を含め4回開催しております。

協議内容については資料の17ページをご覧ください。検討事項の1つとして、本道のがん診療体制の整備について、国のがん診療連携拠点病院として、更新22病院の推薦を確定しました。

また、北海道の指定病院として北海道高度がん診療中核病院を3病院、北海道がん診療連携指定病院7病院を指定更新し、計27病院とすることを確認しました。

2つ目として、北海道医療計画の「がんの医療提供体制」について、進捗状況や指標の達成状況等を踏まえた評価案について協議いたしました。

次に、地域保健専門委員会に設置している小委員会等について協議状況を報告いたします。18ページをご覧ください。「循環器疾患対策小委員会」について、令和4年度はWEB及び書面により、2回開催しております。協議内容については19ページをご覧ください。

検討事項の1つ目として、北海道医療計画の「脳卒中・急性心筋梗塞等の心血管疾患の医療連携体制」について、進捗状況の評価について協議いたしました。

2つ目として、北海道循環器病対策推進計画の取組状況及び進捗状況の評価について協議いたしました。

次に20ページをご覧ください。「糖尿病対策小委員会」について、令和4年度はWEB及び書面開催により、2回開催しております。協議内容については、資料21ページをご覧ください。

検討事項の1つ目として、北海道医療計画の「糖尿病の医療連携体制」について、取組に係る年次評価について協議いたしました。

2つ目として、啓発事業である「世界腎臓デー啓発パネル展」と「慢性腎臓病住民講演会」の実施について協議いたしました。

次に22ページをご覧ください。「難病対策小委員会」について、令和4年度は1回開催しております。協議内容については23ページをご覧ください。

検討事項の1つ目として、指定難病等医療費受給者証の更新事務等の改善策について報告がありました。

2つ目として、令和6年4月1日から施行される改正難病法の要点について報告がありました。

3つ目として、移行期医療支援体制整備事業について事業の拠点となる移行期医療支援センターの運営の方向性について協議いたしました。

次に24ページをご覧ください。「アレルギー疾患対策小委員会」について、令和4年度は、書面により、1回開催をしております。協議内容については25ページをご覧ください。

北海道アレルギー疾患医療拠点病院として指定されている北海道大学病院の取組評価や取組予定について協議いたしました。

なお、「介護老人保健施設整備検討委員会」については、令和4年度の開催実績はありませんでした。

以上で、地域保健専門委員会及び各小委員会等における検討状況の報告を終わります。

(松家会長)

ありがとうございました。ただ今の各専門委員会からのご報告に対して、何かご質問等はございませんでしょうか。

《 質問・意見等なし 》

特にございませんか。それでは、報告事項はこれまでといたします。

次の6の協議事項に入らせていただきます。

まず、(1)の「各専門委員会委員等の指名について」であります。協議会設置要綱第7条第2項の規定により、専門委員会の委員は、会長が指名することとなっております。各専門委員会に所属していただく委員につきましては、資料3「各専門委員会委員名簿」のとおり、運営委員会は7名、救急医療専門委員会は15名、地域医療専門委員会は18名、地域保健専門委員会は15名といたしたいと存じます。このことに対して何かご質問、ご意見等はございませんでしょうか。

《 質問・意見等なし 》

特にございませんか。ありがとうございます。それではこのように決定いたしますので、各専門委員会の委員の皆様には、よろしく願いいたします。

次に、(2)の「令和5年度(2023年度)各専門委員会協議予定(案)について」事務局から一括して説明をお願いいたします。

(総務課 松田政策調整担当課長)

それでは私から「令和5年度(2023年度)各専門委員会協議予定(案)」につきましてお手元の資料4に基づきまして概要を一括してご説明申し上げます。

まず1ページ目ご覧いただきたいと思っております。「救急医療専門委員会」についてでございますが、現行の「北海道医療計画」における進捗状況及び評価や、救急医療、災害医療体制の整備など継続の協議事項に加えまして、次期北海道医療計画の策定につきましてご協議いただきたいと考えております。

また、「救急告示医療機関審査小委員会」では、救急病院等の認定審査について「救急医療情報システム検討ワーキンググループ」では、北海道救急医療・広域災害情報システムの運営について、ご協議いただきたいと考えております。

続きまして、2ページ目をご覧いただきたいと思っております。「地域医療専門委員会」についてでございますが、今年度は「医療計画」の策定年度でございます。また、「外来医療計画」を含みます「次期北海道医療計画」の策定に向けた議論を中心に、引き続き「地域医療構想」の推進について各圏域での協議状況などをご報告いたしますとともに、「地域医療介護総合確保基金」に関しましては、「令和5年度北海道計画」及び「令和6年度実施予定事業」についてご協議いただきたいと考えております。

また、「看護対策小委員会」では、「現行医療計画」に基づく事業評価、「次期医療計画」に向けた看護職員の確保対策などについて、「周産期・小児医療検討委員会」では、周産期・小児医療の現状と取組や「現行医療計画」の進捗及び評価、「次期医療計画」における周産期医療、小児医療の策定について、「医療施設整備等検討委員会」では、医療提供体制施設整備交付金等による令和4年度に実施した事業の事後的評価や、今年度における当該交付金の配分方法や来年度の整備計画について

て、「在宅医療小委員会」では、北海道における在宅医療の現状と取組、「次期医療計画」における在宅医療について、ご協議いただきたいと考えております。

続きまして、3ページ目をご覧くださいと思います。「地域保健専門員会」についてであります。がん診療体制の整備のほか、次期「北海道がん対策推進計画」の策定や、新たな北海道医療計画におけるがんの医療連携体制について、ご協議いただきたいと考えております。

また、「循環器疾患対策小委員会」では、脳卒中や急性心筋梗塞等の心血管疾患における医療連携の推進のほか、第2期「北海道循環器病対策推進計画」の策定や、新たな北海道医療計画における循環器病対策について、「糖尿病対策小委員会」では、糖尿病における医療連携の推進や、慢性腎臓病対策の取組のほか、新たな北海道医療計画における糖尿病対策について、「介護老人保健施設整備検討委員会」では、今年度及び来年度の介護老人保健施設の整備計画について、「難病対策小委員会」では、難病患者・慢性疾患児童等への支援や新たな北海道医療計画における難病対策について、「アレルギー疾患対策小委員会」では、アレルギー疾患に関する医療連携体制や、北海道アレルギー疾患医療拠点病院の取組の評価や計画について、ご協議いただきたいと考えております。

なお、これら各専門委員会や各種小委員会・ワーキング等におけます協議事項等の詳細につきましては、この総会の後に引き続き開催いたします各専門委員会においてご説明申し上げますので、よろしくお願ひしたいと思います。私からの説明は、以上でございます。

(松家会長)

ただいまの説明について何かご質問、ご意見等ございますでしょうか。

《 質問・意見等なし 》

特にございませんですかね。それでは本協議事項につきましては了承することといたします。

それでは、各専門委員会の委員の皆様には、これからの2年間の任期ですけれども、本道の保健医療を進めて行く上でとても大切な事項でございますので、各専門委員会で実りのある議論が行われるようお願いいたします。

最後に、7の「その他」でございますけれども、何かありますでしょうか。

《 質問・意見等なし 》

特にございませんか。このあと引き続き各専門委員会を開催しますので、事務局から会場等のご連絡をお願いいたします。

(総務課 松田政策調整担当課長)

地域医療専門委員会は、本会場で開催いたしますので、このままこの場所にお残りください。

救急医療専門委員会は、「カンファレンスルーム5 I」で、地域保健専門委員会は、「ホール5 G」で開催いたします。会場にお越しの委員におかれましては、関係課職員がご案内いたしますので、それぞれの会場に移動していただきたいと存じます。

本会場につきましては、設営の間、若干お時間いただきますので、地域医療専門委員会の委員の皆様には、現在の事務局側の席にてご着席いただきまして、お待ちいただければと存じます。

また、WEBからご参加されております皆様におかれましては、事務局側の操作によりまして各専門委員会毎に振り分けを行いますので、Zoomはそのままにさせていただいて本ルームから退出せず

しばらくお待ちいただきたいと思います。以上でございます。

(松家会長)

それでは、これをもって本日の協議会を終了いたします。ありがとうございました。